



草マルチをした白菜

どんどん葉が育っていく白菜

(上) こぼうの芽 (下) 人参の芽

半自給自足生活、実践チャレンジ中！



淀江の宿 今津田中家 瓦版

第20号

2024.11 発行

農業一年生の再スタート！

私、淀江の宿今津田中家のオーナー田中洋子は、2020年5月のUターン後、ありがたい近所さん山中文男さんご夫妻が畑の草刈や耕運をしてくださり、娘萌々子と一緒に野菜作りをスタートしました。当時はコロナ禍で、出かけることが少なかつたため、50種類以上の野菜を育てて、農業一年生として半自給自足生活を楽しんでいました。

2022年には、富山から大山町に移住された富岡啓一さんの協力を得て、不耕起の自然農法にチャレンジしましたが、同時期に仕事や外出が増え、忙しさにかまけて、殆ど任せきりになりました。

2024年春からはご近所の宮川卓也さんと自然農法にチャレンジ予定でしたが、宮川さんも私も忙しくなり、畑はほったらかしで荒れ放題。約一年半大阪で生活していた萌々子が9月に戻って来たタイミングで、山中さんが草刈り・耕運をしてくださり、農業一年生の再スタートを切りました。



ほったらかしの畑を山中さんが草刈り



(左上) 黒豆 (右上) 小豆 (左下) 緑豆 (右下) 白大豆

4種類の味噌ができました！

9月から、天気のいい日は朝夕畑に出て、ぐんぐん伸びる雑草を使って草マルチにして、冬野菜を中心に少量多品種の野菜を育てています。無農薬なので、キャベツ類の葉が好きなアオムシなどの虫とも格闘中です。

11月には食事提供する野菜はほぼ賄えるようになると思います。ぜひ宿での食事をお楽しみください。

すまいるびとsaninさんがうちの田んぼの天日干しはでかけ米から作ってくださった米麹と、いろんな方の手で育てた自家製無農薬肥料大豆とで作った味噌の他に、4月に宮川卓也さんをナビゲーターに実施した「味噌づくりワークショップ」にて、いずれも自家製の「小豆」「黒豆」「緑豆」で作った味噌も出来上がりました。

長く大阪で暮らした私には新鮮なことも多く、農業一年生、まだわからないことだらけですが、「大山さんのおかげ」、山川里海の自然の恵みや循環を感じながら、皆様のご協力も得て、半自給自足生活の実践チャレンジを進めていきたいと考えています。

連載「淀江プロジェクト」物語 [第十九話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第19話：ここはしめ飾りの内職作業場？ デッキ完成！

ここはしめ飾りの内職作業場？

2018年の年の瀬クリスマススイブの前日に第1弾がスタートした「淀江プロジェクト」。2019年1月に第2弾、3月に第3弾、5月に第4弾、7月に第5弾、9月に第6弾を実施して、片付けから解体、そして再生へとフェーズが進んでいた。その2か月後の2019年12月13日(金)の23日(月)の11日間で、新たなメンバーも加わり、淀江プロジェクト第7弾を実施。

13日に、サハラクミコさんと一緒に大阪を車で出発した洋子は一足先に淀江に帰って夕飯を用意し、過去に手伝ってくれたメンバーを迎え入れたのだが、その中に、鳥取市浜村在住でプロジェクト皆勤賞だった翔太郎さんの姿が無い。「他の仕事が忙しくて来れないらしい」。そんな翔太郎さんがやってきたのは、15日の夜。大量のしめ飾りを作る業務を請け負ったが、このままだと納期に間に合いそうにないので、こちらのメンバーにも時間があれば手伝ってほしいということだった。大量の材料を持ち込み、賄い飯担当のサハラクミコさんとあつこさんに作業の方法を教える翔太郎さん。説明が終わると慌てて帰っていった。その夜から、田中家の和室は、しめ飾りの内職作業場と化し、女性陣二人を中心に夜な夜なの作業が続いた。

そんな忙しい翔太郎さんが自分の代わりにと言って、派遣してくれたのが、恭ちゃん(長久保恭平)さんで、彼はとても頼りになる大工さんで、その後も活躍してくれることになる。

今回の淀江プロジェクト第7弾 主な作業メンバー

- しょうきち(野崎将太)さん
- しゅう(大木 脩)さん
- やつだ(八田 公平)さん
- ハブッチ(羽瀬 正樹)さん

新たな作業メンバー

- ★鳥取市浜村から大工でミュージシャンの
- 恭ちゃん(長久保 恭平)さん

その他のメンバー

- 姐さん(サハラクミコ)さん
- あつこ(ひろせあつこ)さん
- おにぎりくん(小橋 俊哉)さん
- てるちゃん(吉田輝子)さん
- 翔太郎(宮原翔太郎)さん
- もりさと(森田 悟史)さん
- ゆっぺい(河津優平)さん

新たなその他のメンバー

- ★鳥取市浜村から
- スミレちゃん(荻原董)さん

5日間で様変わり！裏庭デッキも完成！

洋子は16日には仕事のため大阪へ戻り、皆に託して、しばし淀江を離れる。そしてまた20日の夜に淀江へと向かった。帰ってみると、キッチン天井の天井が、お洒落な曲線で塞がれ、屋根裏に上がる新たな階段が付き、全面に床板が貼られ、ま

作者・田中 洋子

(株)ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてUターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第19話」



1 第二十話に続く！



た大きく開口した場所にはサツシがはめ込まれおり、裏庭デッキの下地作業も進んでいた。短期間での様変わりに感動する洋子。

洋子が不在の間、ありがたい近所さんの前田(前田一夫)さんが、「まかない大変ですね」と言いながら、白葱と大根、ブロッコリーとかキャベツなどをたくさん持って来てくださったようで、サハラクミコさんがその野菜も上手く使って、充実の賄い飯を日々提供してくれた。20日の夜に洋子が淀江の帰って来た時には、地元のもりさとさん、ゆっぺいさんやその知り合いで青森から来た安田さんなども加わって、宴会が繰り広げられていた。その他にも作業中に今までに比べてこのことのある地元の方たちも覗いてくれたとのことだった。その後も着々と作業が進み、最終日には夜遅くまで作業が行われて、壁の塗装が進み、また裏庭のデッキが完成した。2020年5月に予定している引っ越しに間に合わせるべく実施された今回の長丁場の工事で、キッチン・リビング・ダイニング・洋室・米蔵・屋根裏の5つのエリアが一つになったカフェスペースが、什器設置を除いてほぼ完成した。

素敵な空間が出来たことがとても嬉しく、ちょうど一年前の第1弾からのいろいろな出来事を振り返り、様々な出逢いに感謝しながら、洋子は大阪への帰路に就いた。

淀江の宿
今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=

ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL：0859-30-3889
www.imazutanakaya.com

今後は LINE を始め各種 SNS にて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE 公式アカウント
お店のポイントが貯まる！



Infomation

韓国のテレビ局がロケに来られました！

9月12日、ロケハンのため、「D-Live」（韓国首都圏最大手のケーブルテレビ局で、現在ソウルをはじめ京畿道などの首都圏を中心に270万世帯の加入者を持つ）、及び鳥取県広報課、㈱中海テレビ放送の方が、淀江の宿今津田中家を訪問されました。

その後、中海テレビ放送の担当者の方からご連絡をいただき、10月10日にロケを受けることが決まり、宿での朝食、淀江のe-bikeサイクリング、稲刈りとはで掛け、日替わり店長カフェなど終日ロケが行われました。この様子は次号以降でお伝えします。

商工会創業セミナー



淀江の宿今津田中家の運営会社(㈱ウォリス)のオリジナルの経営シミュレーションゲーム(BASG)を使って行う創業セミナーが、鳥取県西部商工会産業支援センターにて、下記の日程で行われます。

11月16日(土) 10:00~15:00 (うち休憩1時間)
11月17日(日) 10:00~15:30 (うち休憩1時間)

お申込
フォーム



対象者は、創業を目指す方、創業間もない方、事業承継を予定されている方です。

美味しいお米ができました！



今年もありがたいご近所さん 山中さん全面ご協力の下、天日干しはでかけ米 きぬむすめ・もち米の脱穀が終わり、新米のご用意ができるようになりました。宿にある粳摺り機 兼 精米機で、粳からその場で玄米・分付米・白米などお好みの形に加工いたします。

お米の販売の詳細はこちらから



日替わり店長カフェ紹介

11/27(水) 11:30 - 15:00

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米にすまいるびとsanin仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶&甘酒ボウル。ドリンクメニューとして、ノンカフェインのオリジナル野草茶の他に、梅酵素茶と生姜ゆず茶もご用意しています。いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験ついています♡

- おむすび&お味噌汁セット
ミニスイーツ付き
- 甘酒ボウル&野草茶セット
- ドリンクメニューはどれも

¥1,000
¥1,300
¥1,000
¥500



「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名~12名で個別のご予約を承ります。詳細はWEBサイト等でご確認ください。

お得な特典たくさん！ 淀江の宿今津田中家 2024年度会員募集

年会費

継続会員 2,000円

新規会員 3,000円

瓦版継続発行を応援してくださる会員の皆様に募集しています。

お得な会員特典も!ご協力よろしく願いいたします。

会員特典

- 瓦版の送付 継続会員：瓦版13号~24号 新規会員：瓦版1号~24号
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米)
・新米ご希望の方は2024年11月以降
・お米は基本当番にてお渡し(郵送料別途)
・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券1,000円分プレゼント
- 毎月1回 各種10%割引券
(飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- 瓦版2周年イベント(2025年3月開催予定) 無料参加!



お申込み
フォーム



News Topics

9/8 米子日吉津商工会サイクルフェス サイクルカーニバル2024



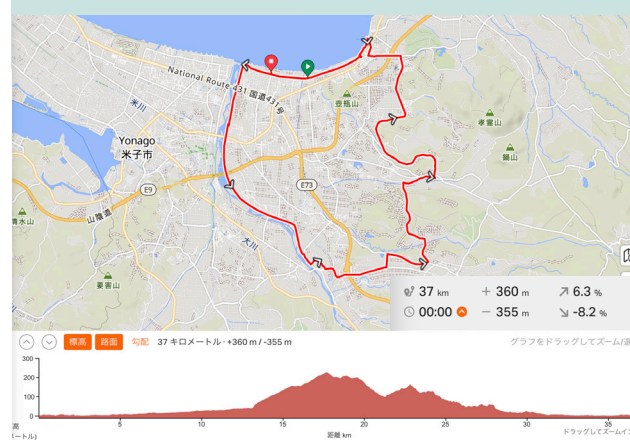
ゴールの日吉津海浜運動公園ではマルシェも開催

9月8日(日)に米子日吉津商工会主催のサイクルカーニバル2024が開催されました。サイクルカーニバルは今年31回目を迎えるアットホームなサイクリングイベントで、定番の「健脚コース」は、長距離すぎず、ある程度アップダウンも楽しめる約70kmのコースです。私淀江の宿今津田中家のオーナー田中洋子は、今回、5年ぶりに復活したショートコース(サイクリングコース)の企画と実施の責任者として関わらせていただきました。

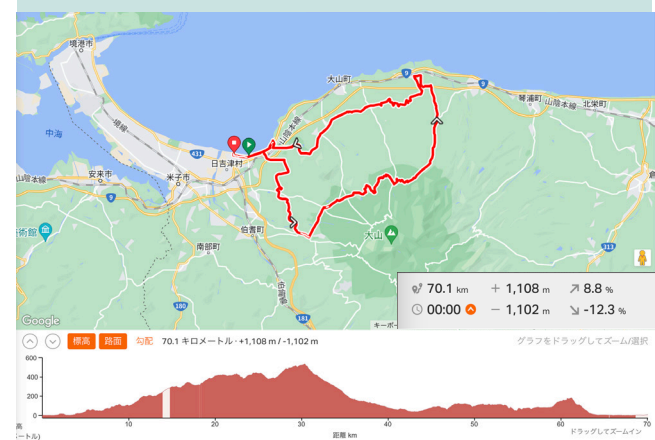
「水の道周遊コース」の4つのエイドでは水分補給の他、伯耆町商工会(板餅、植田正治写真美術館(大山ハムコロッケ、本宮の泉(梨、淀江漁港(かき水)を提供し、それぞれのエイドで「日野川」「大山と水」「湧水」「日本海」に関するクイズを出題、全問正解の方はゴールで「地元」のうまいもん」が当たるくじを引いて商品ゲットしてもらいました。

真夏にロードバイクで試走した際、私はバテバテになり、途中ショートカットしてしまつたのですが、当日は、7歳・8歳・9歳など10名の小学生から最年長73歳まで、参加者全員が無事完走され、子どもたちの可能性を感じる一日となりました。商工会の運営スタッフはじめ様々な方に助けられ、無事故で、今後に活かせる貴重な体験をさせていただきました。

水の道周遊コース



健脚コース



「大山時間」国土交通省「自転車活用推進功績者」団体表彰受賞！ 記念シンポジウム&徳島大学サイクルツーリズム講座 in 鳥取で事例発表



シンポジウム約4時間の様子がYouTubeでご覧いただけます



鳥取県西部ブランドディングプロジェクト「大山時間」(構成…鳥取県西部の各商工会と西部センター、大山山麓・日野川流域観光推進協議会)が「令和6年度自転車活用推進功績者表彰(主催…国土交通省自転車活用推進本部)」を受賞され、9月12日に記念シンポジウムが米子市淀江文化センター(さなめホール)で開催されました。

第一部では、元国土交通省自転車活用推進本部事務局次長の金籠史彦氏が「自転車活用と地域活性化」について講演。第二部の「徳島大学サイクルツーリズム講座」では、田中洋子も事例発表を行いました。株式会社ARCHの高橋幸博氏、徳島大学の山中英生教授、矢部拓也教授コーディネートの下、金籠氏も加わって意見交換が行われました。